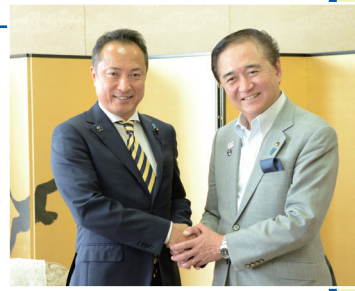


神奈川県議会議員

松長やすゆき

県政報告

第1号



県議としての最初の年である今年度、私は「建設常任委員会」に所属することとなりました。市議のころから河川の災害対策や公園などの充実にとりわけ関心をもって取り組んできた私としては、力を出せるポジションをいただいたものと気を引き締めております。

そして、さっそく5月議会において、①藤沢市内の河川災害対策としての遊水地建設、②民間資源活用による公園施設の利便性向上、の2点について行政当局に質問・要望を示し、その見解と応答をいただきました。

下土棚遊水地の建設について

（質問）藤沢市内には、国交省の総合治水対策特定河川に指定されている河川が二つあり（境川と引地川）、かねてより氾濫による災害に悩まされてきました。境川への対策として下土棚に遊水地の建設が進められています。進捗状況はどうなっているのでしょうか。また遊水地上部の公園は地域住民の憩いの場、スポーツ広場としての整備をしてもらいたいが、いかがでしょうか。

（答弁 河川課長）現在、時間雨量60ミリ対応できるよう整備を進めており、工事は下流のA池から重点的に進め、平成30年



下土棚遊水地公園 完成予定図

8月には暫定的に使用開始しています。残りのB池も令和2年の使用開始に向け取り組んでいます。また、地上部の公園については、地元住民や学識経験者などの意見をいただいて、利用性の高い機能をもったものに使いたいです。

Park PFIの創設・実施について

（質問）県立公園内で民間業者に飲食店など物販を許可し、その収益の一部を公園施設の整備に充てるという、「Park PFI」が創設されました。藤沢市内には三つの県立公園（湘南海岸公園、辻堂海浜公園、境川湧水公園）がありますが、この制度の有効的活用のために、以下のことをただし、要望します。

「Park PFI」の実施にあたっては、地域住民と意思疎通を密にし、十分のコンセンサスを得てもらいたいし、民間業者の商売繁盛が優先されて公園本来の安らぎや憩いの場としての役割が失われることのないようにしてもらいたい。また、最近では犬をつれて公園を利用したいという人が増えているので、この点への配慮もお願いします。

（答弁 公園課長）現在、候補公園の絞り込みを行っているが、その段階から公園利用団体や地元自治会との調整を図っていききたい。また、民間業者の施設は公園内の一部施設として許可するものであり、利用者のサービス向上につながるよう取り組みます。

（答弁 都市公園課長）動物関係の団体と連携して動物愛護のイベントを実施していますが、この機会に、犬に関心ある方ない方ともども安心して公園利用してもらえようと思います。

以上のほか、高齢化社会における健康長寿に資する公園施策を要望し、趣旨に添う管理運営に取り組む旨の回答を得ました。